

証券コード：6718

Communication & Security

Business Report 2011

第53期 報告書

2010.4.1 ▶ 2011.3.31

アイホン株式会社

株主の皆様へ



株主の皆様におかれましては、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

本年3月の東日本大震災により被災された皆様には、心からお見舞い申し上げます。

ここに当社第53期（2010年4月1日から2011年3月31日まで）の営業の概況と決算につきましてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2011年6月

代表取締役社長

市川 周作

当期の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、企業収益におきましては世界経済の回復や国内外の経済対策の効果により緩やかな回復基調にあるものの、失業率が高水準で推移していることや年度末に発生した東日本大震災が日本経済に与える影響は大きく、先行き不透明な状況となりました。

一方、世界経済は、新興市場国については内需を中心に拡大するなど順調に推移し、米国や欧州については失業率が高い水準にあるものの、各国の経済対策により、景気は緩やかな回復の動きが見られました。

当社グループを取り巻く環境におきましては、日本国内の2010年新設住宅着工戸数が前年比3.1%増の81万3千戸と2年ぶりに増加へ転じ、住宅販売も増加しつつありましたが、雇用情勢や所得環境等は依然として厳しく本格的な回復には至りませんでした。

このような状況の中で、当社はお客様のニーズに応えるべく、新製品の開発と積極的な営業活動を展開して

業績の向上に努めてまいりました。

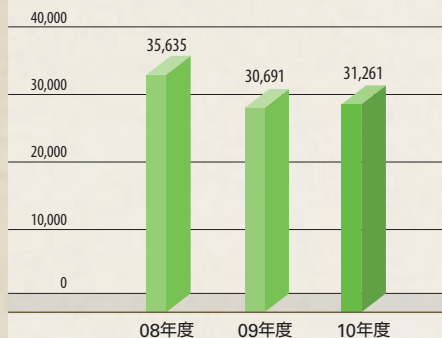
当連結会計年度の経営成績につきましては、売上高は312億6千1百万円（前連結会計年度比1.9%増）となりました。利益面につきましては、販売促進費、研究開発費等が増加した結果、営業利益は4億9千4百万円（同27.9%減）、経常利益は6億3百万円（同16.3%減）となりました。また、投資有価証券評価損の増加等の影響により当期純利益は1億4千6百万円（同73.9%減）となりました。

一方、個別の経営成績につきましては、売上高は290億8千5百万円（前期比3.5%増）、営業利益は4億4千2百万円（同139.8%増）、経常利益は5億6千万円（同74.3%増）、当期純利益は1億8千2百万円（同58.5%増）となりました。

なお、東日本大震災により東北地方及び関東地方の事業所におきましては、建物及び設備等の一部に被害がありましたものの、いずれも大事には至りませんでした。

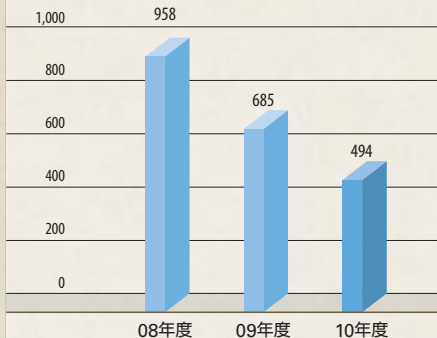
売上高

単位:百万円



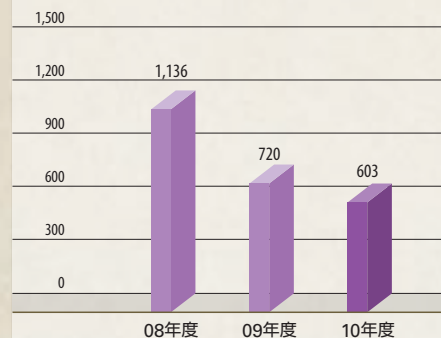
営業利益

単位:百万円



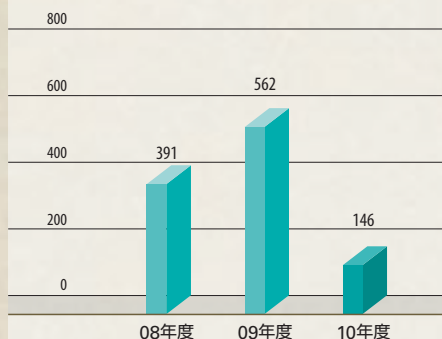
経常利益

単位:百万円



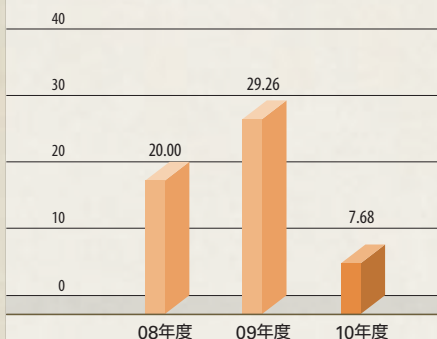
当期純利益

単位:百万円



1株当たり当期純利益

単位:円

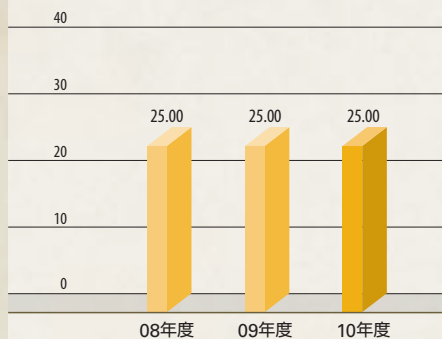


Financial Highlights

決算ハイライト (連結)

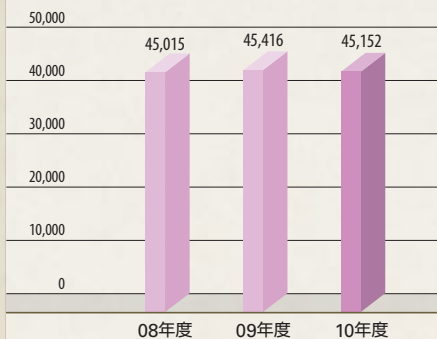
1株当たり配当金

単位:円



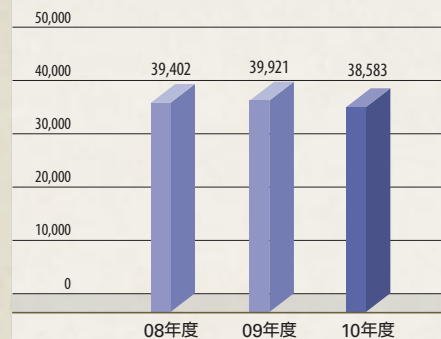
総資産

単位:百万円



純資産

単位:百万円



品目別の状況（連結）

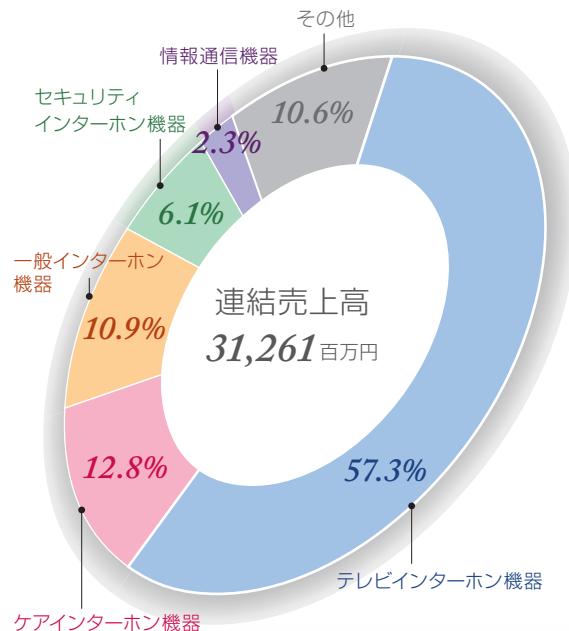
当社グループ（当社及び連結子会社6社）は、一般インターホン機器、セキュリティインターホン機器、テレビインターホン機器、ケアインターホン機器及び情報通信機器等の電気通信機器の製造・販売を主な内容とし、更に各事業に関連する据付工事、請負、修理等の事業活動を展開しております。

品目別販売状況

品 目	売上高（百万円）	前連結会計年度比（%）	構成比（%）
一般インターホン機器	3,408	△4.5	10.9
セキュリティインターホン機器	1,912	△14.3	6.1
テレビインターホン機器	17,915	△1.8	57.3
ケアインターホン機器	3,988	30.1	12.8
情報通信機器	725	8.3	2.3
その他	3,310	13.6	10.6
合 計	31,261	1.9	100.0

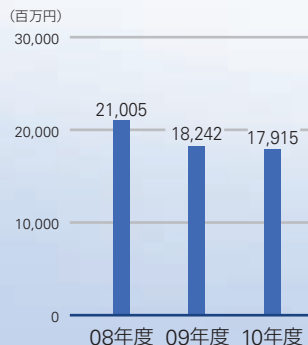
注：記載金額は百万円未満を切り捨て表示しております。

品目別売上高構成比



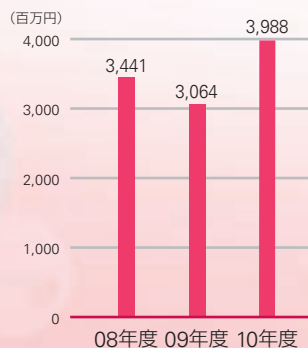
TV INTERCOM MACHINERY テレビインターホン機器

売上高



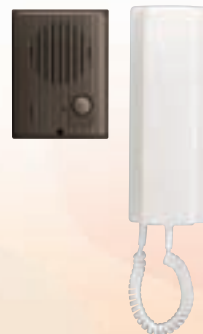
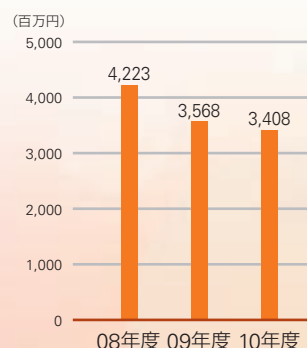
CARE INTERCOM MACHINERY ケアインターホン機器

売上高



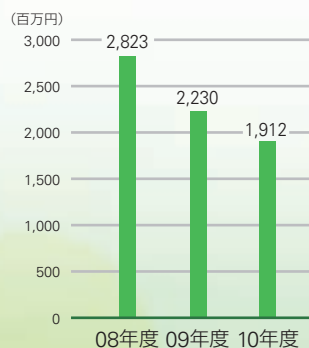
GENERAL INTERCOM MACHINERY 一般インターホン機器

売上高



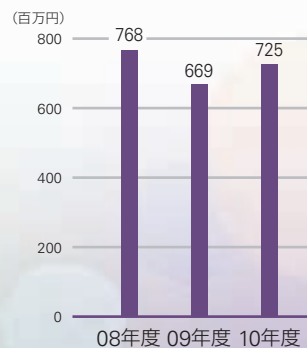
SECURITY INTERCOM MACHINERY セキュリティインターホン機器

売上高



INFORMATION AND COMMUNICATION MACHINERY 情報通信機器

売上高



IPネットワーク対応インターホン「ISシステム」を全世界に向けて新発売。



北米を中心として海外で高いニーズがある学校市場や業務市場に向けて2011年2月にIPネットワーク対応インターホン「ISシステム」を発売いたしました。

「ISシステム」は従来のテレビインターホン機能と最新のIP技術を融合することで、これまでよりも幅広いエリアでの集中管理を可能にした大型システムです。今までの構内の出入口等の管理のほかに、IPネットワーク経由で複数の拠点を一括管理・相互管理ができ、距離にとらわれず幅広い用途に対応できます。

日本国内においても2011年9月に発売を予定しており、2011年3月8日(火)～11日(金)に東京ビッグサイトで開催された国内最大級のセキュリティ・安全管理総合展「SECURITY SHOW 2011」(主催:日本経済新聞社)の当社ブースに展示し、多くのご来場者様にご好評をいただきました。





アイホンは地球環境の保全に取り組んでいます。

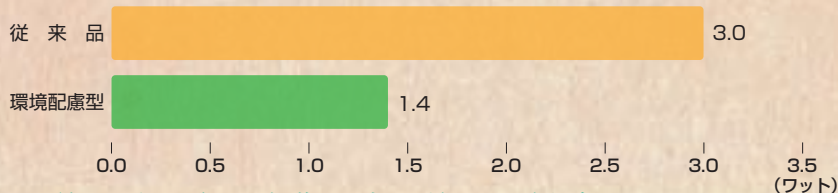
環境配慮設計による製品例

ハンズフリーテレビドアホンセット（JHS-1AE-T）のモニター付親機のモニター部分のLCDを見直し、待ち受け時の消費電力を約50%削減※1いたしました。



ハンズフリーテレビドアホンセット
(JHS-1AE-T)

● 待ち受け時の消費電力



待ち受け時の消費電力を約50%削減

当社は『自分の仕事に責任を持て、他人に迷惑をかけるな』という経営理念のもと地球環境の保全と事業活動の調和を図り、環境経営の継続的な向上にグループをあげて取り組んでおります。

現在、海外では製品に含まれる化学物質のうち、環境への負荷が懸念される物質の厳格な管理が求められております。当社では、お客様により安心・安全に製品をお使いいただくために環境への負荷が懸念される物質の管理に取り組んでおります。

また、2008年には環境方針に掲げた『環境への負荷の低減』を目指し「環境配慮設計運用基準」を導入しました。

環境配慮設計により生まれた製品は従来の製品に比べ環境負荷を大幅に低減しております。これらの製品を多くのお客様に知っていただき、ご使用していただくために環境ラベル（タイプⅡ）※2を2010年4月より導入いたしました。

当社はこれらの取り組みを更に強化し、今後も地球環境の保全に努めてまいります。

会社概況 / ショールーム

会社概況 (2011年3月31日現在)

社名	アイホン株式会社 AIPHONE CO.,LTD.
創立	1948年6月1日
本社所在地	名古屋市熱田区神野町 二丁目18番地
資本金	5,388,844,000円
従業員数	1,467人(連結) 918人(個別)

事業の内容

1. 通信機器、音響機器、電子応用機器並びに各種電気機器の製造、据付工事、請負、修理、売買及び輸出入。
2. 情報通信、情報処理及び情報提供のサービス並びにインターネット接続仲介業。
3. コンピュータシステム機器及びソフトウェアの設計、開発並びに販売。
4. 前各号に附帯する一切の業務。

上記の主な製品品目は、一般インターホン機器、セキュリティインターホン機器、テレビインターホン機器、ケアインターホン機器、情報通信機器であります。

役員 (2011年6月29日現在)

代表取締役社長	市川 周作	常勤監査役	梶田 良貴
取締役	寺尾 浩典	監査役	坂浦 正輝
取締役	平児 敦夫	監査役	立岡 亘
取締役	和田 健	監査役	石田 喜樹
取締役	岡田 修		

当社の製品をご自由にご覧いただけます

月曜日～金曜日(除く祝日、夏季休暇、年末年始休暇) 営業時間 >>> 9:00～17:00

本社ショールーム



〒456-8666
名古屋市熱田区神野町2-18
(052) 682-3877

地下鉄名港線: 日比野駅 2番出口より徒歩約5分

東京ショールーム



〒112-0001
東京都文京区白山3-2-2
(03) 5684-3411

東京メトロ丸ノ内線: 茗荷谷駅 春日通出口より徒歩約12分
都営地下鉄三田線: 白山駅 A1出口より徒歩約13分
当ショールームには駐車場のご用意はございません。ショールームにお越しの際には恐れ入りますが、公共交通機関をご利用ください。

大阪ショールーム



〒540-0005
大阪市中央区上町1-5-16
(06) 6765-0352

地下鉄鶴見緑地線: 玉造駅 1番出口より徒歩約5分
JR大阪環状線: 玉造駅 徒歩約13分

国内ネットワーク



本社



東京支店



豊田工場



大阪支店



海外ネットワーク

連結財務諸表

連結貸借対照表

[単位：百万円]

科目	当連結会計年度 2011.3.31現在	前連結会計年度 2010.3.31現在
資産の部		
流動資産	31,277	31,264
固定資産	13,875	14,152
有形固定資産	4,931	5,312
無形固定資産	0	0
投資その他の資産	8,943	8,839
資産合計	45,152	45,416
負債の部		
流動負債	4,890	3,924
固定負債	1,678	1,571
負債合計	6,568	5,495
純資産の部		
株主資本	40,506	41,244
その他の包括利益累計額	△ 2,746	△ 2,218
少数株主持分	824	896
純資産合計	38,583	39,921
負債純資産合計	45,152	45,416

注：記載金額は百万円未満を切り捨て表示しております。

連結損益計算書

[単位：百万円]

科目	当連結会計年度 2010.4.1～2011.3.31	前連結会計年度 2009.4.1～2010.3.31
売上高	31,261	30,691
売上原価	18,301	18,036
売上総利益	12,960	12,654
販売費及び一般管理費	12,465	11,968
営業利益	494	685
営業外収益	369	361
営業外費用	261	327
経常利益	603	720
特別利益	0	9
特別損失	187	101
税金等調整前当期純利益	415	628
法人税等	241	33
少数株主損益調整前 当期純利益	174	—
少数株主利益	27	32
当期純利益	146	562

注：記載金額は百万円未満を切り捨て表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

[単位：百万円]

科目	当連結会計年度 2010.4.1～2011.3.31	前連結会計年度 2009.4.1～2010.3.31
営業活動によるキャッシュ・フロー	959	3,852
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 476	△ 882
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 904	△ 405
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 258	△ 68
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△ 680	2,496
現金及び現金同等物の期首残高	15,547	13,051
現金及び現金同等物の期末残高	14,866	15,547

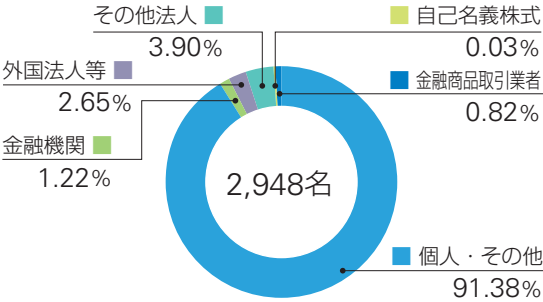
注：記載金額は百万円未満を切り捨て表示しております。

株式の状況

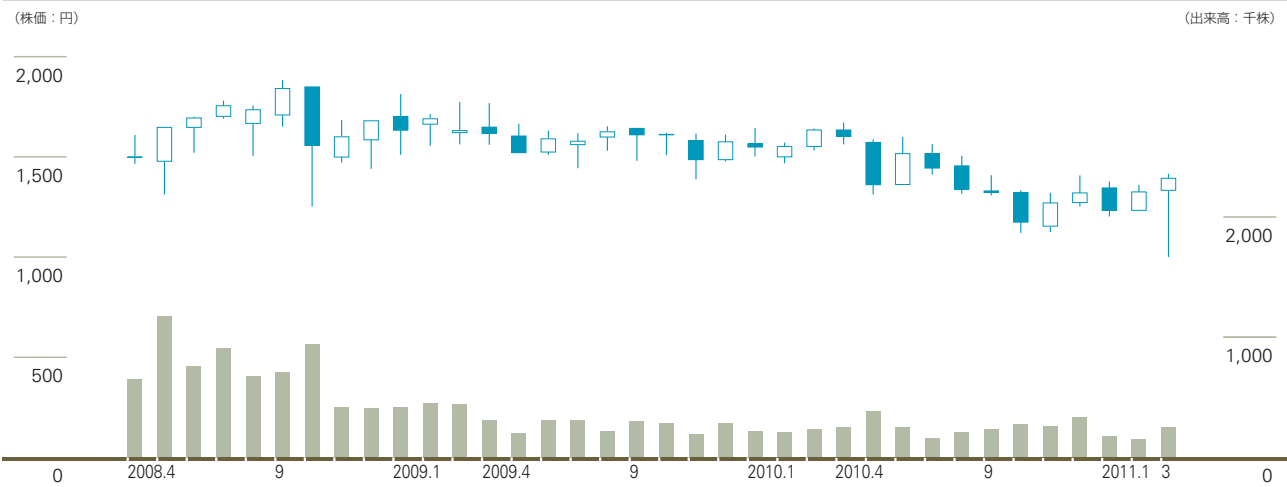
株式の状況 (2011年3月31日現在)

発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式総数	20,674,128株
株主数	2,948名

所有者別分布状況 (2011年3月31日現在)



株価・出来高の推移



大株主 (2011年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
市川周作	2,793	14.77
いちごトラスト	2,208	11.67
アイホン従業員持株会	812	4.29
株式会社みずほ銀行	726	3.83
日本生命保険相互会社	613	3.24
三菱UFJ信託銀行株式会社	607	3.21
第一生命保険株式会社	480	2.53
みずほ証券株式会社	470	2.48
株式会社三菱東京UFJ銀行	404	2.14
住友生命保険相互会社	364	1.92

注：当社は自己株式1,764千株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
また持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711（通話料無料）
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部、名古屋証券取引所市場第一部
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.aiphone.co.jp/bu/koukoku.html (ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。)

【ご注意】

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

【株式に関するお手続きについて】

○特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先
- 特別口座から一般口座への振替請求 - 単元未満株式の買取請求 - 住所・氏名等のご変更 - 特別口座の残高照会 - 配当金の受領方法の指定(*)	口座管理機関 特別口座の株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711（通話料無料） 【手続き書類のご請求方法】 - 音声自動応答電話によるご請求 TEL 0120-244-479（通話料無料） - インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/
- 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 - 支払期間経過後の配当金に関するご照会 - 株式事務に関する一般的なお問合せ	

(*) 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はご選択いただけません。

○証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先
- 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 - 支払期間経過後の配当金に関するご照会 - 株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711（通話料無料）
上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

ホームページのご案内

当社ではホームページにて当社の企業情報を随時開示しています。製品紹介のサイトでは当社が出展した展示会情報等を掲載しているほか、IR情報のサイトでは決算短信等でご覧いただけます。

<http://www.aiphone.co.jp>



■ 受賞・認証



**品質管理の最高賞
デミング賞受賞**
(1981年11月受賞)



**ISO9001認証
JQA-Q291**
該当製品・標準品・受注品
(1993年10月認証)



**ISO14001認証
JQA-EMO453**
豊田工場サイト
(1999年6月認証)
本社・大宝サイト
(2006年5月認証)

■ 商品の修理受付・ご相談

修理受付センター

0120-037-704

FAX 0120-098-990

●受付時間 午前9:00～午後5:30 ●年中無休(365日)受付
土曜、日曜も受け付けております。

お取り扱いなどのご相談は
お客様相談センター

0120-141-092

(ご注意 携帯電話からのご利用はできません)

●受付時間 午前9:00～午後5:30
●土・日・祝日、およびお盆・年末・年始、ゴールデンウィークを除く。

